

# 2011年3月期 決算説明会

西日本鉄道株式会社(9031)

2011年5月17日(火)

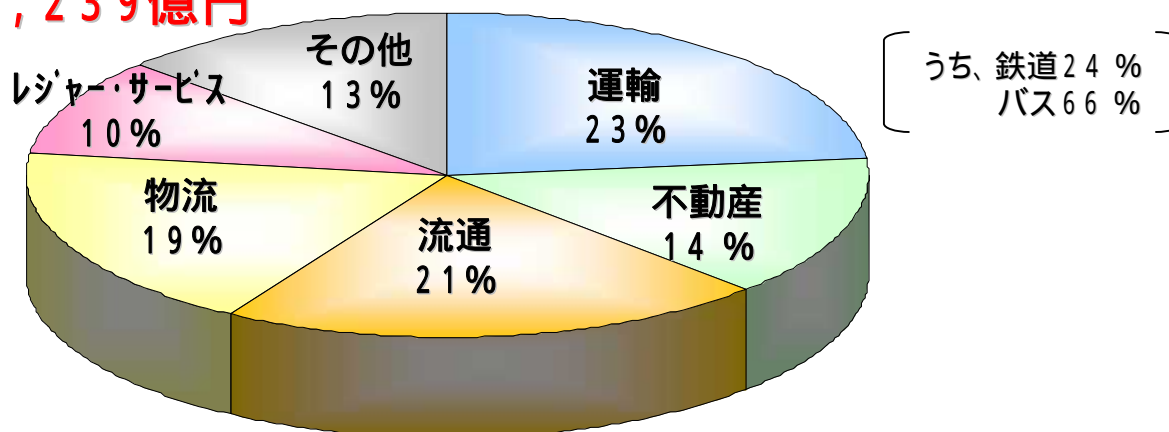
# 連結営業概況(11年3月期)



グループ会社：子会社75社、関連会社9社

- 特長
- 福岡を事業基盤とする生活関連企業...運輸業、不動産業、流通業など
  - 西鉄ブランドを基盤に域外展開...国際物流事業、ホテル事業など

連結営業収益 3,239億円



セグメント	運輸業	不動産業	流通業	物流業	レジャー・サービス業	その他
営業収益	846億円	506億円	768億円	676億円	347億円	475億円
主な事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 鉄道</li> <li>➢ バス</li> <li>➢ タクシー</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 賃貸</li> <li>➢ 分譲</li> <li>➢ 管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ストア</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 国際物流</li> <li>➢ 国内物流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ ホテル</li> <li>➢ 旅行</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 車両整備</li> <li>➢ 建設</li> </ul>

# 連結損益の実績(総括)



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	3,239億円	3,139億円	100億円	3.2%
営業利益	110億円	89億円	21億円	23.2%
経常利益	92億円	68億円	24億円	34.8%
当期純利益	58億円	29億円	29億円	101.3%
減価償却費	218億円	225億円	7億円	3.1%
E B I T D A	331億円	317億円	14億円	4.6%
設備投資	265億円	265億円	0億円	0.0%

## ➤ 営業収益(増収)

- 国際物流事業において、アジアを中心とした物流の拡大により取扱が増加
- 西鉄ストア(ストア事業)において決算期を変更(2月期→3月期)

## ➤ 営業利益・経常利益・当期純利益(各利益とも増益)

- 各社、各事業において、事業構造の見直しや効率化に努めた結果、前年実績を上回った
- 全般的には、消費は依然として停滞し、価格等の競争は激化しており、回復感に乏しい中推移

Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd.

E B I T D A = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却費(営業費)  
設備投資は単純集計です。

# セグメント別損益状況

- ・当期より、セグメントについて事業の実態に即して変更しています。
- ・各セグメントの数値は、マネジメントアプローチに基づいています。
- ・前期数値についても変更後の数値で表示しています。

# 1. 運輸業



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	846億円	852億円	5億円	0.6%
営業利益	31億円	17億円	14億円	79.9%
減価償却費	114億円	116億円	2億円	1.9%
E B I T D A	145億円	134億円	12億円	8.6%
設備投資	78億円	109億円	32億円	29.0%

➤ 営業収益の主な増減要因

- タクシー事業、鉄道事業等で減収
- バス事業増収(事業内取引を除く)

➤ 営業利益の主な増減要因

- バス事業での路線効率化等の効果

# ～ 鉄道事業（運輸業の内訳） ～



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	227億円	228億円	2億円	0.7%
営業利益	30億円	36億円	6億円	15.9%
旅客収入	210億円	211億円	0億円	0.2%
旅客人員	104百万人	105百万人	0.6百万人	0.5%
(定期外)	49百万人	50百万人	1.1百万人	2.2%
(定期)	55百万人	55百万人	0.6百万人	1.0%

▶ 天神大牟田線旅客人員 0.2%      ▶ 貝塚線旅客人員 0.6%

● 定期外 2.3%  
● 定期 +1.7%

● 定期外 +3.9%  
● 定期 2.6%

## ～ バス事業（運輸業の内訳） ～



	11年度3月期	10年度3月期	増 減	増減率
営業収益	615億円	620億円	(注) 5億円	0.7%
営業利益	0億円	21億円	20億円	-

(注)バス事業内取引を除くと2億円の増収です。

乗合収入	482億円	477億円	5億円	1.0%
貸切収入	47億円	50億円	3億円	6.8%
乗合旅客人員	267百万人	266百万人	1.1百万人	0.4%
（定期外）	152百万人	155百万人	2.0百万人	1.3%
一般	146百万人	147百万人	1.6百万人	1.1%
高速	7百万人	7百万人	0.5百万人	6.4%
（定期）	115百万人	111百万人	3.1百万人	2.8%

## 2. 不動産業



	11年度3月期	10年度3月期	増減	増減率
営業収益	506億円	525億円	19億円	3.7%
営業利益	73億円	84億円	10億円	12.2%
減価償却費	58億円	60億円	1億円	2.0%
E B I T D A	135億円	146億円	11億円	7.7%
設備投資	101億円	75億円	26億円	34.4%

### ▶ 営業収益の主な増減要因

- 不動産賃貸事業…商業施設の売上低迷  
関連事業での減収(工事の受注減)
- 不動産分譲事業…販売戸数の減(646区画 対前年70区画減)



## ～ 不動産業の内訳～



### （ 不 動 産 賃 貸 事 業 ）

	11年3月期	10年3月期	増 減	増減率
営 業 収 益	264億円	280億円	16億円	5.9%
営 業 利 益	62億円	75億円	14億円	18.0%

### （ 不 動 産 分 譲 事 業 ）

	11年3月期	10年3月期	増 減	増減率
営 業 収 益	168億円	174億円	7億円	3.8%
営 業 利 益	9億円	6億円	3億円	44.3%
販 売 戸 数	646区画	716区画	70区画	9.8%
(マンション)	282戸	346戸	64戸	18.5%
(戸 建)	364区画	370区画	6区画	1.6%

### 3. 流通業



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	768億円	713億円	55億円	7.7%
営業利益	8億円	6億円	2億円	25.4%
減価償却費	8億円	8億円	0億円	5.0%
E B I T D A	17億円	15億円	2億円	14.1%
設備投資	13億円	16億円	3億円	18.1%

▶ 営業収益の主な増減要因

- ストア事業…競合店の影響等による既存店の減収  
当期に実施した決算期変更(2月 3月)による決算月数増加(株西鉄ストア)

## 4. 物流業



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	676億円	568億円	108億円	19.1%
営業利益	10億円	2億円	7億円	313.2%
減価償却費	8億円	9億円	1億円	9.1%
E B I T D A	18億円	12億円	7億円	56.8%
設備投資	6億円	6億円	0億円	1.4%

### ▶ 営業収益の主な増減要因

- 国際物流事業…アジアを中心とした物流の拡大

# ～ 物流業の内訳 ～



## 〈 国際物流事業 〉

	11年3月期	10年3月期	増 減	増減率
営業収益	670億円	543億円	127億円	23.3%
営業利益	8億円	1億円	7億円	777.4%

航空輸出(重量)	131千トン	107千トン	24千トン	22.4%
航空輸入(件数)	398千件	346千件	52千件	15.0%
海運輸出(TEU)	39千TEU	30千TEU	9千TEU	30.5%
海運輸入(TEU)	47千TEU	32千TEU	14千TEU	44.5%

## 5. レジャー・サービス業



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	347億円	348億円	1億円	0.3%
営業利益	2億円	9億円	7億円	-
減価償却費	21億円	23億円	2億円	7.6%
E B I T D A	20億円	14億円	6億円	40.3%
設備投資	42億円	36億円	6億円	16.8%

▶ 営業収益の主な増減要因

- ホテル事業…シティホテルでの婚礼収入の増加や宿泊主体型ホテルでの増収
- 娯楽事業…他施設との競合等により減収
- 飲食事業…不振店舗の撤退等により減収

▶ 営業利益の主な増減要因

- ホテル事業、旅行事業において損失が縮小

## ～ レジャー・サービス業の内訳 ～



### 〈ホテル事業〉

	11年3月期	10年3月期	増 減	増減率
営業収益	156億円	156億円	(注) 1億円	0.5%
営業利益	3億円	5億円	2億円	-

(注)ホテル事業内取引を除くと、実質的には5億円の増収です。

### 〈旅行事業〉

	11年3月期	10年3月期	増 減	増減率
営業収益	46億円	47億円	1億円	2.3%
営業利益	2億円	7億円	6億円	-

## 6. その他



	11年3月期	10年3月期	増減	増減率
営業収益	475億円	512億円	37億円	7.3%
営業利益	6億円	9億円	4億円	-
減価償却費	15億円	16億円	1億円	9.1%
E B I T D A	9億円	7億円	2億円	27.8%
設備投資	15億円	11億円	4億円	33.7%

➤ 営業収益の主な増減要因

- 車両整備関連事業…バス車体製造事業の廃止

# 連結貸借対照表



		11 / 3月末	10 / 3月末	増 減
総資産	流動資産	795億円	875億円	80億円
	固定資産	3,175億円	3,177億円	3億円
	合計	<b>3,970億円</b>	<b>4,052億円</b>	82億円
負債 純資産	流動負債	984億円	1,065億円	81億円
	固定負債	1,919億円	1,933億円	14億円
	(有利子負債残高)	1,761億円	1,802億円	42億円
	負債合計	2,903億円	2,998億円	95億円
	純資産合計	1,066億円	1,054億円	12億円
合計		<b>3,970億円</b>	<b>4,052億円</b>	82億円

➤ 総資産の主な増減要因

- 販売土地及び建物の減
- 投資有価証券の時価下落による減

➤ 負債の主な増減要因

- 有利子負債の減
- 長期預り保証金の減

➤ 純資産の主な増減要因

- 当期純利益の計上等による利益剰余金の増
- 株式時価下落による評価差額の減



# 連結キャッシュ・フロー



	11年3月期	10年3月期	増減
営業活動	293億円	271億円	22億円
( 税引前当期純利益 )	93億円	72億円	21億円
( 減価償却費 )	218億円	225億円	7億円
投資活動	231億円	202億円	29億円
( 固定資産の取得 )	249億円	251億円	2億円
財務活動	70億円	49億円	119億円
( 借入金・社債 )	42億円	76億円	118億円
現金等の期末残高	263億円	275億円	12億円

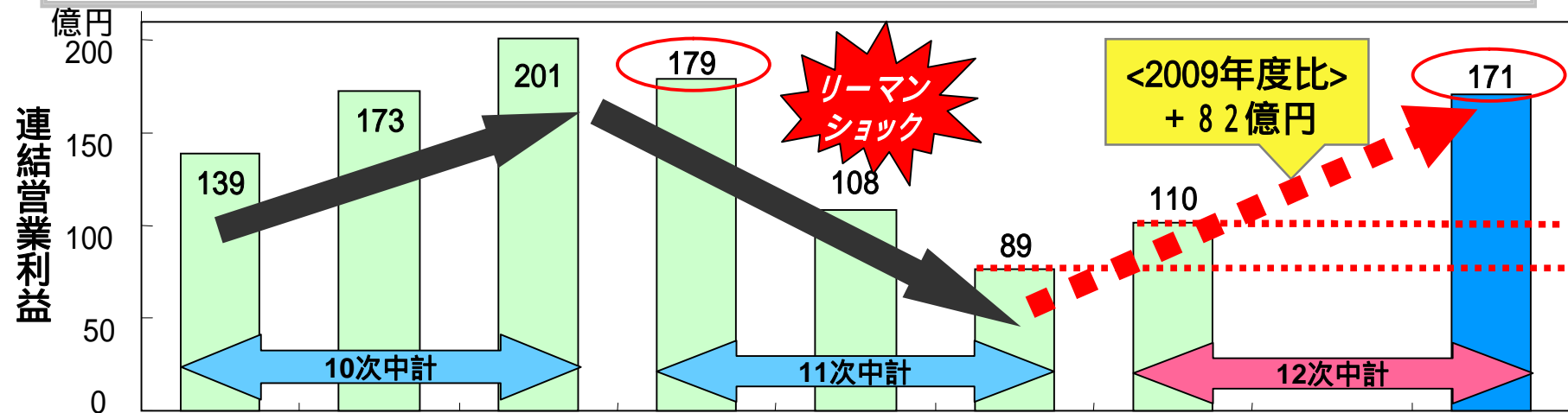
# 2011年度 事業計画

# 第12次中計の基本的な考え方



## リーマンショック後の売上・利益の落ち込みの回復

### 新たな成長に向けた基盤づくり (事業の構造改革・新たな収益モデルの構築)



	2004	2005	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012
連結ROA	3.6%	4.4%	5.0%	4.5%	2.7%	2.2%	2.8%		4.5%
連結ROE	5.1%	8.9%	9.2%	6.5%	1.0%	2.9%	5.7%		7.3%

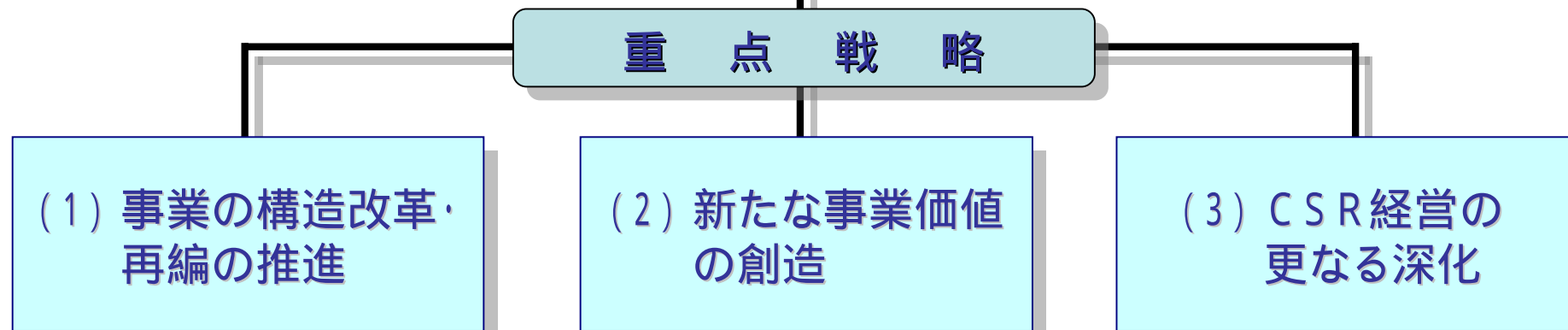
2004～2010年度・・・実績、2012年度・・・計画

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

<グループビジョン> **「変革に挑む西鉄グループ」**  
～時代に適応した全事業の構造転換と、新たなお客さま満足の創造～  
～私たち一人ひとりの意識改革により実現を目指します～

社会構造や市場環境の大転換期を迎え・・・

- ▶ 将来の事業展開に向けて事業の構造改革・再編を推進し、より柔軟で筋肉質な企業グループへ
- ▶ 新たなお客さまの価値を掘り起こし提案することで、お客さま満足を最大化する企業グループへ



# 2011年度事業計画の基本方針



## 基本方針

**事業構造改革の推進と新たな事業モデルによる売上拡大  
CSR経営のさらなる浸透に向けた取組み推進**

## 重点戦略

事業の構造改革・再編の推進	新たな事業価値の創造	CSR経営の更なる深化
事業モデルの変革・ 不採算事業の縮小・撤退	福岡都心部への集客強化	安全・リスクマネジメント の継続的推進
グループ事業の再編	グループ連携・ 地域密着化の推進	環境マネジメントの 取組み推進
間接コストの圧縮	新たな成長市場への 対応強化 (アジア・IT・環境・女性等)	CSの向上、 地域・社会との共生
	人材力の向上	

# 《事業の構造改革・再編の推進》 各事業の構造改革進捗状況



	営業利益 2009実績	2010 実施施策	営業利益 (実績)	2011 事業計画	営業利益 (予想)	中計目標 営業利益
バス 事業	21 億円	<b>【乗合バス】</b> ・合理化(路線廃止・減便(約100路線)) 116台、145人、拠点 3カ所 ・新規路線需要への対応 (九州新幹線新駅乗入 他) <b>【貸切バス】</b> ・合理化 85台、110人、拠点 3カ所	0 億円	<b>【乗合バス】</b> ・新商品・サービスの導入 (観光客向け新商品 他) ・新規路線需要の対応 (郊外大型商業施設 他) ・法人営業強化 <b>【貸切バス】</b> ・抜本的経営改善策の検討・実施	1 億円 ( )	11 億円
旅行 事業	7 億円	・組織見直し、管理部門合理化 (要員削減 50名) ・重点顧客への営業強化 (行政、スポーツ) ・WEB商品強化(専任部署設置)	2 億円	・全社的な要員適正化の実施 (管理部門、営業部ほか) ・個券販売部門合理化(WEBシフト) ・高収益商品販売強化 (チャーター、JRセット商品) ・提携先手数料の見直し	1 億円 ( )	3 億円
ホテル 事業	5 億円	<b>【シティホテル】</b> ・組織等効率化、料飲原価削減 ・婚礼営業強化(法人向け)	3 億円	<b>【シティホテル】</b> ・直営飲食施設エリア大規模改装 複数の直営飲食施設の運営効率化 テナント賃貸スペースの拡大 ・サービス向上PJT推進(意識改革)	2 億円 ( )	8 億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

震災影響を含む

# 《新たな事業価値の創造》 福岡都心部への集客強化

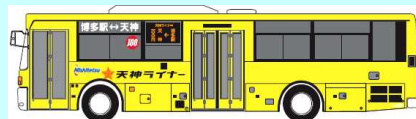


## 交通 & 天神商業施設連携による集客強化

### )) 福岡エリアの回遊強化策

#### ・『天神ライナー』

内 容:福岡都心快速バス(100円/乗車)  
運行開始:2011.3.2~  
本 数:平日 72便、土日祝 78便



#### ・『FUKUOKA 体験バスTICKET』

内 容:バス2日間フリーチケット+福岡の  
様々な体験ができる観光チケット  
のセット

発 売:2011.4.28~  
販売価格:5,500円



#### ・『FUKUOKA 1DAY PASS』発売

内 容:鉄道+バスのエリア限定フリー乗車券  
発売開始:2011.2.10~



### )) 鉄道・バス + 天神百貨店とのタイアップ



×



・・・博多大丸での「グランドパス65」発売、大丸ポイントの付与  
クレジットニモカ利用時の大丸ポイントの付与(2011年12月~)



×



・・・岩田屋・福岡三越での買物商品を福岡(天神)  
駅まで運ぶポーターサービス(2011年4月~)



ポーターサービス  
受付カウンター

《新たな事業価値の創造》  
福岡都心部への集客強化



### 商業施設の魅力向上

- ・リニューアルの推進

天神コア・・・区画変更による回遊性向上、一部テナント入れ替え

ソラリアプラザ・・・ソラリア街区全体の回遊性向上に向けた改造準備

- ・手荷物宅配サービスの開始 (ソラリアプラザビル)

- ・商業施設担当要員の増強



### 地域と連携した天神の魅力向上

- ・『天神ウェルカムイヤープロジェクト』(2011年3月～)

博多地区からの回遊性向上を目的に天神地区の企業や団体が一体となって取組む集客プロジェクト。

天神案内人(3/1～5/8)・・・ボランティアガイドによる天神の施設や交通を案内

「HOP STEP 天神・大名」(4/16～24)・・・天神・大名地区2000店以上が参加する共同販促キャンペーン 他

- ・ミュージックシティ天神等大型のイベントの継続実施



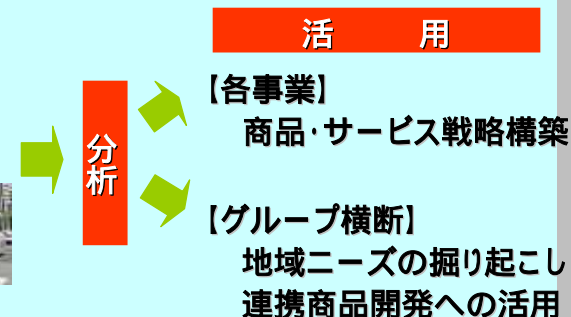
# 《新たな事業価値の創造》 地域ニーズへの対応強化



## ICカードの普及と活用

### )) ニモカデータの活用

- ・蓄積されたニモカデータを分析・活用し事業・商品戦略の構築、実施



### )) 全国相互利用に向けた取組み推進

### )) 外部との提携推進

- ・金融機関や大学との連携(提携カード発行)
- ・外部ポイント交換サービスとの連携

### )) 他地区バス事業者への導入推進

- ・大分地区への導入(2010年度)  
県内の一般路線バスに導入
- ・「ICカードシステム+バスナビシステム」の  
パッケージ商品化、販売推進



《新たな事業価値の創造》  
地域ニーズへの対応強化



交通

鉄道のパーク&ライド施設整備

コミュニティバスの受託拡大

新たなバス路線需要への対応(九州新幹線新駅や新規大型郊外店舗等)

街づくり

福岡都市圏沿線地域への分譲事業集中  
沿線地域でのシニアマンション開発推進

「サンカルナ二日市」開業(2011.8月)

「サンカルナ小倉大手町(仮)」着工

(2012.10月竣工予定)

福岡都心部・バス事業拠点跡地での  
大型複合開発の推進

敷地 4,700坪、建物 10,000坪超

マンション + 商業施設



「サンカルナ二日市」



「サンカルナ  
小倉大手町(仮)」



大型複合開発位置図(天神から西に3km)

《新たな事業価値の創造》

## ホテル・オフィスの新規開発



### ホテル

#### )) 西鉄イン

- ・リゾートイン那覇

(2011年6月4日開業予定)

#### )) ソラリア西鉄ホテル

(宿泊主体型アップグレードホテル)

- ・銀座 (2011年開業予定)
- ・鹿児島 (2012年開業予定)

首都圏 & 九州全域での  
“ソラリア” ブランド浸透

### オフィスビル

- ・東京日本橋ビル(仮称)  
2012年度竣工予定

【西鉄イン】  
那覇(イメージ)



【ソラリア西鉄ホテル】  
銀座(イメージ)



鹿児島(イメージ)



《新たな事業価値の創造》

## 国際物流事業の拡大



### 海運貨物の取扱い拡大

#### )) 自社定期混載便の推進(コンテナ船利用)

【増便】香港・上海・基隆向け(週1便 週2便)

【仕向地の新設】

中国(天津)・ベトナム・シンガポール・オランダ・英国



### 海外売上の拡大

#### )) 海外現法共同セールスの強化

(三国間輸送拡大)

「日本(本部)」+「海外現法」もしくは  
「海外現法」+「海外現法」のタッグによる営業強化

#### )) 海外現法への人材増強

2011年度 10名を日本より派遣予定

(三国間輸送のイメージ)



《新たな事業価値の創造》

## 国際物流事業の拡大



### アジア

#### 中国沿岸主要都市のゲートウェイ化(内陸部ネットワーク充実)

- ・大連・天津・上海・深セン・香港のゲートウェイ化  
国内物流網の拡充、サービス多機能化
- ・内陸部の拠点増設 瀋陽(北京社)、重慶・武漢(上海社)

### 欧州

#### オランダ・ドイツのマルチゲートウェイ化

(空港) アムステルダム・フランクフルト

(港) ロッテルダム・ハンブルグ

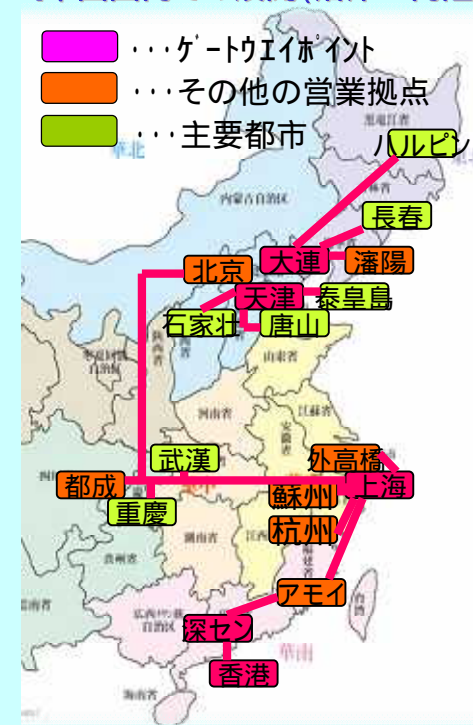
中欧・東欧市場へ拡販

### 北米

#### 拠点スクラップ&ビルドによる採算性向上

- ・縮小・閉鎖 ミネアポリス、セントルイス
- ・拠点統合 ロサンゼルス(ロジ倉庫・営業所)
- ・新拠点開設 カンサスシティ、ヒューストン

【中国国内での展開(沿岸～内陸)】



# 《新たな事業価値の創造》 アジアの活力の取込み



## インバウンド対応の充実

### )) 福岡への誘客強化

- ・西鉄旅行・上海事務所の設立(2011.1月)
- ・アジアに向けた情報発信強化  
(WEB、「LoveFM」活用)

### )) インバウンド客向けサービスの強化

- ・福岡都心部～博多港シャトルバスの運行(2011.2月～)
- ・福岡都心部や観光エリア、港などを  
循環する2階建てバスの運行

## アジアでの新たな事業に向けた取組み

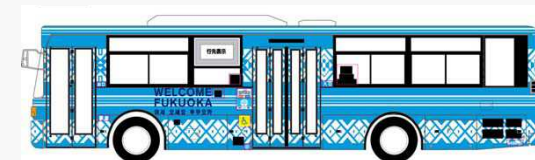
### )) JICA等と連携したバス事業コンサルティングの実施

- ・アジアでの交通関連プロジェクトに参画(ハノイ、ジャカルタ等)

本年1月に天神エフエムが買収した外国語FMラジオ放送局「LoveFM」放送エリア(北部九州)



行き先等の表記を多言語化し  
方面別で色分けをしたシャトルバス



# CSR経営の更なる深化



## 安全マネジメント

- 安全性向上策の取り組み
  - ・完全輸送運動、ヒューマンエラー未然防止活動の継続実施
- 安全投資の実施 23年度安全投資 47億円
  - ・高架構造物の耐震補強、ホーム改良、旅客案内装置更新 など

## 環境マネジメント

- 改正省エネ法への対応推進
- 商品・サービスの環境対応推進
  - ・長期優良住宅「eco100」の販売推進
  - ・ハイブリッドバスの導入継続 など

## CS向上、地域・社会との共生

- あいさつ・美化運動の推進
- 社内モニター制度の実施
- 「(株)西鉄ウィルアクト」の業務開始(障がい者の社会参加促進)



長期優良住宅「eco100」  
キャラクター



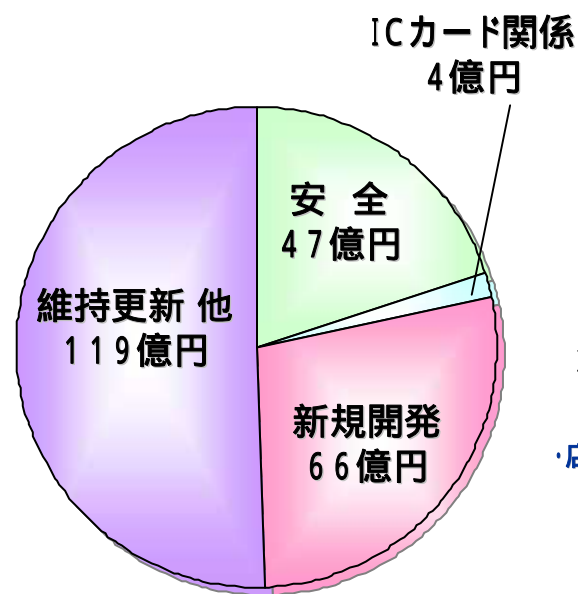
ハイブリッドバス

# 2011年度 投資計画

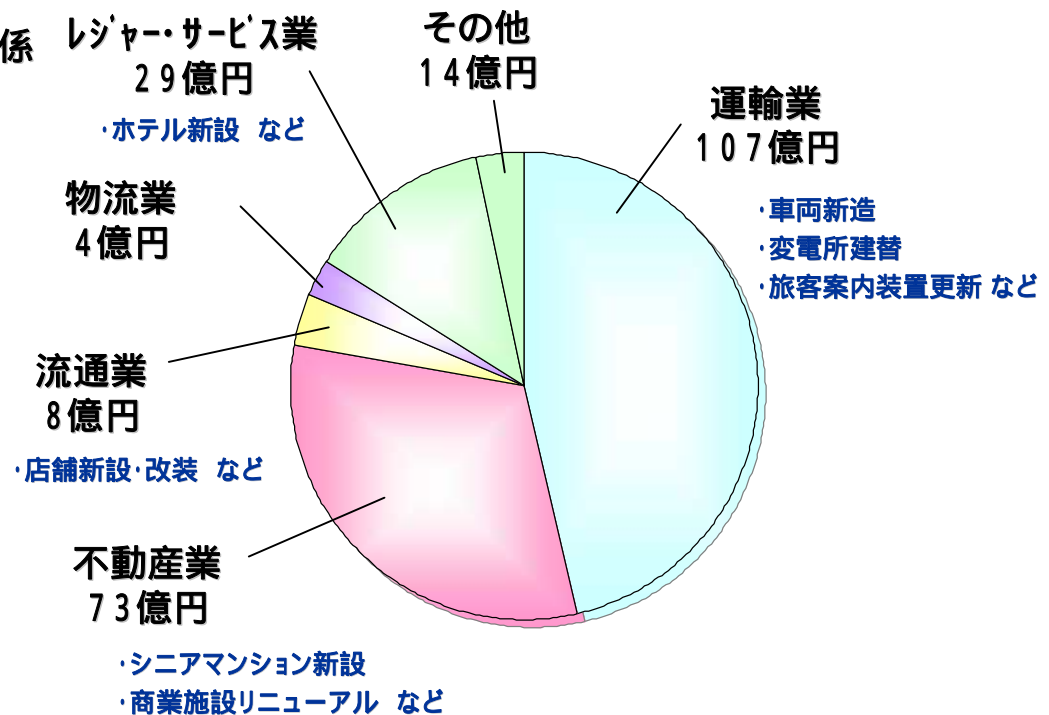


【2011年度総投資額 235億円】

## 投資種別の内訳



## セグメント別の内訳



## 投資額の推移

年度	07年度	08年度	09年度	10年度	11年度計画
総投資額	255億円	373億円	265億円	265億円	235億円



# 2011年度 収支予想

# 2011年度 連結収支予想



	12年3月期 (予想)	11年3月期 (実績)	増減額	増減率
営業収益	3,210億円	3,239億円	29億円	0.9%
営業利益	117億円	110億円	7億円	6.5%
経常利益	97億円	92億円	5億円	5.6%
当期純利益	46億円	58億円	12億円	20.5%
減価償却費	206億円	218億円	12億円	5.4%
E B I T D A	325億円	331億円	6億円	1.8%
設備投資	235億円	265億円	30億円	11.2%

Nishi-Nippon Railroad Co.,Ltd.

設備投資は単純集計です。

# 2011年度 セグメント別収支予想



		12/3期 (予想)	11/3期 (実績)	増減額	増減要因
運 輸 業	営業収益	834億円	846億円	12億円	● 鉄道事業の減益(費用増等)
	営業利益	25億円	31億円	6億円	
不 動 産 業	営業収益	519億円	506億円	13億円	● 不動産分譲事業の増益 (マンション粗利増、 サンカルナ二日市開業等)
	営業利益	75億円	73億円	2億円	
流 通 業	営業収益	706億円	768億円	62億円	● ストア事業の増益(運営の効率化等)
	営業利益	10億円	8億円	2億円	
物 流 業	営業収益	704億円	676億円	28億円	● 国際物流事業の増益 (国内粗利率改善、海外現法取扱高増)
	営業利益	14億円	10億円	4億円	
レジャー・サービス業	営業収益	369億円	347億円	22億円	● ホテル事業の赤字縮小
	営業利益	1億円	2億円	3億円	● 旅行事業の赤字解消
そ の 他	営業収益	434億円	475億円	41億円	● 前期、西日本車体工業の清算
	営業利益	1億円	6億円	7億円	● ICカード事業の赤字縮小

<参考> 2011年度  
セグメント別予想(減価償却費・E B I T D A・設備投資)



		12/3期(予想)	11/3月(実績)	増減額
運 輸 業	減 価 償 却 費	103億円	114億円	11億円
	E B I T D A	128億円	145億円	17億円
	設 備 投 資	107億円	78億円	29億円
不 動 産 業	減 価 償 却 費	59億円	58億円	0億円
	E B I T D A	134億円	135億円	1億円
	設 備 投 資	73億円	101億円	28億円
流 通 業	減 価 償 却 費	8億円	8億円	0億円
	E B I T D A	18億円	17億円	1億円
	設 備 投 資	8億円	13億円	5億円
物 流 業	減 価 償 却 費	7億円	8億円	1億円
	E B I T D A	22億円	18億円	3億円
	設 備 投 資	4億円	6億円	2億円
レジャー・サービス業	減 価 償 却 費	23億円	21億円	2億円
	E B I T D A	25億円	20億円	5億円
	設 備 投 資	29億円	42億円	13億円
そ の 他	減 価 償 却 費	14億円	15億円	1億円
	E B I T D A	15億円	9億円	6億円
	設 備 投 資	14億円	15億円	1億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

# < 参考 > 2011年度 主なセグメント収支予想



			12/3期 (予想)	11/3期 (実績)	増減額
運輸業	鉄道事業	営業収益	225億円	227億円	2億円
		営業利益	26億円	30億円	4億円
	バス事業	営業収益	606億円	615億円	9億円
		営業利益	1億円	0億円	1億円
不動産業	不動産賃貸事業	営業収益	267億円	264億円	3億円
		営業利益	61億円	62億円	1億円
	不動産分譲事業	営業収益	177億円	168億円	9億円
		営業利益	12億円	9億円	3億円
物流業	国際物流事業	営業収益	705億円	670億円	35億円
		営業利益	13億円	8億円	5億円
サービス業 レジャー・	ホテル事業	営業収益	177億円	156億円	21億円
		営業利益	2億円	3億円	1億円
	旅行事業	営業収益	45億円	46億円	1億円
		営業利益	1億円	2億円	2億円

Nishi-Nippon Railroad Co., Ltd.

営業収益、営業利益は単純集計です。



本資料には、将来の業績に関わる記述が含まれています。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を含んだものです。将来の業績は経営環境の変化などにより目標と異なる可能性があることにご留意ください。